

## 船舶インシデント調査報告書

平成23年10月6日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 庄 司 邦 昭  
 委員 石 川 敏 行

インシデント種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成23年1月9日 04時50分ごろ	
発生場所	兵庫県香美町柴山港北方沖 柴山港灯台から真方位006° 5.6海里付近 (概位 北緯35° 45.4′ 東経134° 40.7′)	
インシデント調査の経過	平成23年2月28日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船種船名、総トン数 船種船名、総トン数</p> <p>貨物船 はいばーえこ、498トン 141330、向島ドック株式会社 77.08m×11.50m×7.43m、鋼 電動機、748kW、平成22年9月</p>	
乗組員等に関する情報	<p>機関長 男性 40歳 四級海技士（機関）内燃 免許年月日 平成6年6月23日 免状交付年月日 平成20年9月3日 免状有効期間満了日 平成26年6月22日</p>	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
インシデントの経過	<p>本船は、船長及び機関長ほか4人が乗り組み、柴山港北方沖を航行中、平成23年1月9日04時50分ごろ、操舵室の推進器用電動機操作盤の警報ランプが点灯すると同時に推進器用電動機が停止し、運航不能となった。</p> <p>本船は、最寄りの海上保安部に救助を要請し、京都府舞鶴市舞鶴港にえい航された。</p>	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 4	
その他の事項	<p>本船は、鋼材運搬船としては日本初の電気推進船であり、中華人民共和国の造船所で建造され、本インシデントの1か月前に就航した。</p> <p>本船は、舞鶴港入港後調査したところ、推進器用電動機を制御するコンピューターのCPU基盤の取付けビスが緩み、同基盤が抜けかかっていた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、柴山港北方沖を航行中、推進器用電動

	<p>機を制御するコンピューターのCPU基盤が差し込み口から抜けかけて電気接触不良となったことから、同電動機が停止した可能性があると考えられる。</p> <p>建造造船所から電気制御回路の情報が得られなかったため、CPU基盤の電気接触不良と同電動機停止との因果関係を明らかにすることができなかった。</p> <p>本船は、就航して約1か月後にCPU基盤の取付けビスが緩んだことから、初期故障の可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本インシデントは、夜間、本船が柴山港北方沖を航行中、推進器用電動機を制御するコンピューターのCPU基盤が差し込み口から抜けかけて電気接触不良となったため、同電動機が停止したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>
参考	<p>本インシデント後、本船は、取付けビスを増締めするとともに、基盤が抜けないようにバンドで固定する対策をとった。</p> <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就航後は、初期故障を考慮して各取付けビス、ボルト、ナット等を適宜増締めすること</li> </ul>